

第3回人間文化研究機構 DH 研究会

DH データ基盤としてのデータセット

～利用と提供から考える

9/20  
WED

DHを推進するためには基盤的なデータセットの存在が欠かせません。人間文化研究機構各機関のコーパス(国語研)、古典籍データ(国文研)、歴史地名辞書(機構本部)だけでなく、国内外の研究機関からもさまざまな基盤的なデータセットが公開されています。一方で、これらのデータセットの多くは、研究者または研究機関が中心となって構築されるケースが多く、これらを利用する立場の意見や他の研究者・研究機関が作るデータセットとの連携が十分には意識されてきませんでした。

本企画では、これらの基盤的なデータセットの利用者と作成者との対話を通じて、データ構築の在り方やデータセットの維持・提供および連携にかかる研究機関の役割などについて模索し、DHのより高度な基盤形成につなげる議論を行います。

／プログラム／

10:00-10:05 **趣旨説明** 関野樹(機構 DH 推進室／国際日本文化研究センター)

10:05-11:25 **データセットの利用事例の紹介と要望** (20分×4件)

自身の研究やツール・データ構築での利用、利用者から見たデータセットの特色、他の研究資源やデータとの連携、提供者側への要望・質問など

<登壇者>

- ・画像データ 鈴木親彦(群馬県立女子大学)
- ・言語資源データ 中俣尚己(大阪大学)
- ・時空間データ 北本朝展(国立情報学研究所)
- ・テキストデータ 石田友梨(岡山大学)

(休憩 10分)

11:35-13:00 **ディスカッション** (応答 30～40分+ディスカッション 50分～60分)

利用者側への提供側からの応答とディスカッション

<司会> 関野樹、宮川創(機構 DH 推進室／国立国語研究所)

<登壇者>

- ・利用者側 北本朝展、石田友梨
- ・提供側
  - ・画像データ 海野圭介(国文学研究資料館)
  - ・言語資源データ 中川奈津子(国立国語研究所)
  - ・テキストデータ 金甫榮(渋沢栄一記念財団)
  - ・提供機関 大井将生(機構 DH 推進室／機構本部)

／日時／ 令和5年9月20日(水) 10:00～13:00 <JADH2023 ワークショップ企画>

／実施形態／ オンライン(申込者に URL をお知らせします)

／参加費／ 無料 (JADHの一般セッションに参加する場合には、種別に応じて参加費が必要です)

／参加受付／ <https://forms.office.com/r/H6hLFTcUR6> (右 QR コードからもアクセス可能)

主催／ 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 人間文化研究創発センターDH 推進室  
JADH2023 実行委員会  
連絡先／ 人間文化研究機構本部 研究企画課広報・社会連携係 (Mail) koho@nihu.jp

